

管理運営の基本理念と方針

基本理念 里山・人・地域を元気にする「里山ウェルネス」を展開し、公園を核とした「心のふるさとづくり」を進めます。

本グループの公園は自然と人々の生活との関わりの中で育まれてきた「里山」の風景や豊かな自然が残っています。私たちは、これら多摩丘陵に残る貴重な「里山」の自然や文化を次世代に残すべき地域の共有財産と認識し、様々な主体との連携による地域に根差した活動を進めております。今回の計画では、

- ①里山の自然を保全することで**里山を元気にし**
- ②里山を舞台とした様々な活動を通じて**人々が元気になる**
- ③公園に集い活動の輪が広がることで**地域社会を元気にする**

この一連の連鎖を「里山ウェルネス」と呼び、様々な取組を展開していきます。

私たちは、この里山ウェルネスを展開することで、人々の間に「ふるさと意識」を育み、**地域社会全体に活力を生む、新たな「心のふるさとづくり」を進めて参ります。**



里山ウェルネスのしくみ



「心のふるさとづくり」イメージ図

| | | |
|-------------|---------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 基本方針 | 方針Ⅰ <里山を元気に> | <ul style="list-style-type: none"> ■植物多様性センターや大学研究機関等との強固なパイプを活かし、生物多様性保全に配慮した植生管理や希少種の保全、モニタリング調査等に継続して取り組みます。 ■レンジャーによる自然観察プログラム等、里山の魅力を伝える普及啓発活動を充実させていきます。 |
| | 方針Ⅱ <人を元気に> | <ul style="list-style-type: none"> ■ボランティアのスキルを高め、里山を保全するため自発的に活躍するリーダーの育成に努めます。 ■雑木林の萌芽更新作業等の里山保全活動を通じた中高年層の生きがいの創出にさらに取り組みます。 ■ヘルシーウォーキング等を取り入れたプログラムにより、健康増進に役立つ取組を積極的に展開します。 |
| | 方針Ⅲ <地域を元気に> | <ul style="list-style-type: none"> ■住民主体の地域イベント等の取組をさらに発展させ、コミュニティを活性化し「心のふるさとづくり」を推進します。 ■多摩丘陵の保全活動に係る関係者からなる「里山フォーラム」を開催し、広域連携により、多摩丘陵の魅力向上と利用促進に努めます。 ■地元幼稚園やボランティア団体等との連携を更に深め、多世代交流や子育て支援等、地域社会の問題解決に貢献します。 |
| | 方針Ⅳ <活動を元気に> | <ul style="list-style-type: none"> ■活動を元気にし、公園を核とした地域コミュニティを活性化します！ |

公園別管理運営方針と主な取組

| | 管理運営方針 | 主な取組 |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 小山内裏 | <ul style="list-style-type: none"> ■地域連携による里山および生物多様性の保全 ■里山カレッジの拠点として普及啓発及び人材育成 ■地域コミュニティ形成の拠点づくり | <ul style="list-style-type: none"> ○レンジャーとボランティアや大学との協働による希少種保全、モニタリング調査の継続・充実 ○里山カレッジの充実及び里山学芸員の認定等、里山保全にむけた人材育成 ○都や関係機関、地域と連携した防災イベントの実施 ○健康増進プログラム・イベントの実施 ○乳幼児のいる母親向け「公園育児サロン」の運営 ○障がい者支援施設と連携したミニコンサート実施 |
| 桜ヶ丘 | <ul style="list-style-type: none"> ■生物多様性の保全と普及 ■地元小学校やボランティアとの連携による里山の景観と文化の継承 ■地元市と連携した防災力の強化 ■ドッグラン運営の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ○レンジャー、ボランティアが共同し、タマノカンアオイ等希少種保全、モニタリング調査の継続・充実 ○生物多様性保全の意義を伝えるガイドツアーの実施 ○地域と連携して「さくら祭り」を拡大実施 ○地域と連携した防災避難訓練等を実施 ○大学等と連携した子ども向け環境プログラムを実施 ○東京都の指導の下、ドッグラン運営懇談会を開催 |
| 小山田 | <ul style="list-style-type: none"> ■関係団体との協働による貴重な里山の自然・文化を未来に継承 ■レンジャーとボランティア等の連携による生物多様性の保全 ■健康増進の取組推進、地域コミュニティの活性化 | <ul style="list-style-type: none"> ○レンジャー、ボランティアや大学研究機関と連携した希少種保全、モニタリング調査の継続・充実 ○里山保全活動の体験講座、環境イベント等の実施 ○セラピストと歩く健康増進イベントの実施 ○地域のNPOと連携した自然・歴史ガイドウォークの実施 ○アシックス社等と連携したスポーツイベントの開催 |
| 長沼 | <ul style="list-style-type: none"> ■協働による生物多様性の保全 ■豊かな自然を活かした健康増進プログラムの実施 ■気象災害への万全な備えと対応 | <ul style="list-style-type: none"> ○ボランティア等と連携した希少植物の保全 ○企業等と連携した健康ウォーキングイベントの実施 ○土砂災害時には協会専門スタッフが迅速に対応 |
| 平山 | <ul style="list-style-type: none"> ■協働による生物多様性の保全 ■豊かな自然を活かした健康増進プログラムの実施 | <ul style="list-style-type: none"> ○ボランティア等と連携してホテルの生息調査や希少植物の保全推進 ○企業等と連携した健康ウォーキングイベントの実施 ○長沼公園等丘陵をつなぐ自然ガイドウォーク開催 |

★多様な連携先との協働による質の高い管理運営

私たちは、ボランティア団体が自立して活動できるようコーディネートするとともに、地域や警察・消防等との関係を、より密接にする「里山の公園管理マネジメント」を推進します。

質の高いサービスの提供

(1) 里山の魅力を伝え、里山保全の担い手を育てる「里山カレッジ」等の充実

- ①「里山カレッジ」の充実
 - 里山の伝統技能等をテーマとした講座等のカリキュラム作成と内容の充実
- ②丘陵地レンジャーや里山学芸員を中心とした普及啓発活動
- ③小中学生向け、体験・学習プログラムの実施

(2) 多摩の里山で、人と地域を元気にする多彩なイベントプログラム

- ①子育て・高齢者・福祉団体等との連携活動
- ②里山アートイベントの開催
- ③ペットイベント

(3) 「里山ヘルシーパークプロジェクト」による心身のリフレッシュ

(4) 「里山フォーラム」の開催

従来の「大里山ミーティング」を発展させ、多摩丘陵に係る多様な主体が参画したシンポジウム等を開催することで多摩丘陵の里山保全と継承および利活用の促進をアピール

維持管理計画

1 日常管理における取組

(1) 安全・安心・快適性を常に追求する計画的な維持管理

- ① P D C A サイクルにもとづく計画的な維持管理（予防保全的観点での維持補修）
- ② 「公園クイックナビシステム」（GPS）を活用した迅速・的確な維持管理
- ③ 利用者が管理状況の分かる維持管理（維持管理の可視化）

(2) 丘陵地の魅力高め、里山の風景と生物生息環境を次世代に継承する上質な維持管理

- ① 丘陵地や地域の誇りとなる「里山パークビュー」を意識した維持管理



小山内裏 小山田 桜ヶ丘 長沼 平山城址

- ② 協会版「生物多様性保全戦略」に基づく環境に配慮した維持管理
- ③ ユニバーサルデザインに配慮した維持管理
- ④ 効率的で良質な維持管理
- ⑤ 地域資産として貴重な巨樹、名木等の保全と継承

(3) 多様な主体と連携・協働した効果的な維持管理の推進

- ① ボランティアや住民等との協働による維持管理の推進
- ② 新工法等を活用した効果的な維持管理

2 緊急時における迅速・円滑な対応

(1) 事故や故障等への対応

- ① 直営と委託を掛け合わせて適切な対応により迅速・円滑に復旧
- ② 地元の企業等と特約店契約を結び、365日緊急対応が可能な体制を構築

(2) 地震や大雨等、自然災害時の対応

- ① 「公園別ハザードマップ」による事前点検等災害防止対策の実施
- ② 地震や台風大雨に備えた緊急配備体制の確保

丘陵地特性を踏まえた植生管理（生物多様性保全等）

(1) 基本方針

私たちは、これまで培ってきた雑木林等の保全活動やモニタリング調査のノウハウを活かし、ボランティアや植物多様性センター、大学等研究機関と協働・連携して、生物多様性に配慮した里山の保全・再生の取組を更に推進します。

独自の「生物多様性保全戦略」に基づき、協働・連携による雑木林等の植生管理を実施するとともに、作業で発生した枝葉や幹等の循環活用に取り組みます。

(2) 具体的な取組内容

- ① 里山を保全するための植生管理と資源循環モデルづくり
 - 計画的植生管理の推進 ○ 萌芽更新等の実施と資源の有効活用

- 木漏れ日のさす明るい雑木林の創出 ○ 竹林の良質な管理と活用
- 樹木病虫害への的確な対策
- ② 貴重種の保全とモニタリング調査
 - 大学、ボランティア、東京動物園協会等と連携した希少動植物の保全管理（キンラン、タマノカンアオイ、ゲンジボタル、イモリ等）
 - 外来種の防除（オオブタクサ等）
- ③ 都民協働の推進、里山保全の担い手となる人材育成

オリンピック・パラリンピックを契機とした公園の魅力向上の取組

(1) おもてなし・窓口サービスの充実

- ① 管理所窓口にて英語での案内が可能な職員を配置するとともに、コミュニケーションボード等も設置して外国人をおもてなし

(2) 公園で「花と緑のおもてなし」

- ① ボランティア等と連携し、「公園でおもてなし花壇」を設置
- ② 多摩丘陵の野草を展示する野草園を充実
- ③ 江戸東京を代表するサクラの名所を再生する「東京 S A K U R A プロジェクト」推進

(3) 公園へのアクセス・回遊性の向上

- ① 地域周遊マップを活用し、公園周辺地域を周遊する散策コースや歴史・文化資源等を紹介

(4) 公園から世界への情報発信（多言語化）の推進

- ① H P を多言語化するとともに内容を充実し、スマートフォン等からのより詳細な情報を提供
- ② 公園資源総合ガイドブックを発行し、H P にも掲載してセルフガイドツールに活用、鉄道駅等にも配布し外国人の利用を促進
- ③ 外国人向けの多言語対応案内板やピクトサインの充実

(5) 和の文化発信イベント等による賑わいの創出

- ① 公園広場等で七夕、鯉のぼり、正月飾り等季節の風物詩の演出を行い、外国語でも解説して日本文化に触れる機会の提供
- ② 「どんど焼き」や「和太鼓の演奏」など日本の伝統文化を実感できる催しを実施

(6) バリアフリー・ユニバーサルデザインの充実

- ① トイレ等施設周辺の他、主要舗装園路の段差解消等、バリアフリー対応を実施
- ② バリアフリー対応園路ルートを一覧表示し H P にも掲載

(7) 健康増進の取組推進によるオリンピック・パラリンピックに向けた機運の醸成

- ① 健康増進をテーマとしたヨガ等のプログラムを展開
- ② セラピストのガイドにより森を散策し心身をいやす「里山セラピー」を開催
- ③ 「ヘルシーウォーキング」を含めたモデルコースを設定し、健康増進に寄与するウォーキングプログラムを展開
- ④ 自然の中でスポーツを楽しむ「里山のびのびスポーツデー」を実施し、オリンピックや運動の機運を醸成
- ⑤ アシックス社や地元大学駅伝部等と連携して、尾根緑道で走り方教室を開催
- ⑥ 地元 J3 チーム等と連携し、サッカー教室など親子や子供向けのスポーツイベント開催
- ⑦ 協会 H P や広報誌、パンフレット、メールマガジン等で五輪・スポーツ関係の特集を組み、公園の利活用を促進



どんど焼き(小山内裏)



さくらまつり(桜ヶ丘)



里山セラピー(小山田)